

研修名 保育内容研修12（参加型）

「プレゼンテーション発表会」

平成28年2月1日（月）13:30～16:00

会場 ホテルルビノ京都堀川

1 講演要旨

1) 町立上豊田保育所①one more ランキング

- ・毎年3月に、年長児リクエストメニューを作っている。
- ・大人が思う子どもの好きなメニューとの違いがある。
- ・「おかあさん やすめ ははきとく」とは反対に“魚”が好きな子が多い。
- ・クッキングによって、食材を五感で感じている。
- ・保育所の給食の役割を見直す。

2) 里の西保育園②里の西保育園の紹介

- ・2年前に園舎を建て替え、室内遊具、テラス、午睡室がある。園庭には芝生が1年間を通して生えている。基本裸足で遊んでいるが、芝生があるので、転んでも怪我が軽度である。土のグラウンドもある。
- ・農園もあり、季節の野菜や果物、植物を子どもたちと共に育てている。育った食物は給食の献立に入れたり、各家庭に持ち帰ったりしている。
- ・体操、空手、発声、リトミック、楽器、英語、造形、お茶会など様々な活動に取り組んでいる。
- ・子どもたちの成長には自然の中で育つことを様々な人との関わりを持ち、優しい気持ち、思いやりの気持ちを持つ機会を作ることが大切。

3) 千代川保育園、大井保育園③咀嚼について

- ・保護者や周りの大人が「早く」とせかすことが噛まない原因にもなっている。
- ・咀嚼力や噛み癖は個人差があるため、子どもひとりひとりと向き合う丁寧な保育が必要である。
- ・口内、胃腸の健康効果、病気予防、脳、美容、幸せ効果など咀嚼による様々な効果がある。
- ・「卑弥呼の歯がい～ぜ」

4) 槇島ひいらぎ保育園④きちんと噛める子を育てる～手づかみ食べをうながすために～

- ・保育園の離乳食…ゴックン期、モグモグ期、カミカミ期、パクパク期に分けている。
- ・スティック状の物を楕円形に変える、野菜や肉を素揚げにして手で持てるようにする、おにぎりを三角から俵型に変える、一口サイズの物を棒状にして持ちやすくする等保育士と栄養士で連携を取りながら工夫をしている。
- ・手づかみ食べを促すために大切なこと…手指先を使うあそびや感触あそびを多く取り入れる、バラエティーにとんだ食材の提供、噛む経験を増やす、離乳食の段階をきちんと経て食べる。
- ・大人が汚れたくないからと思い、手伝いすぎることが多い。

5) 海印寺保育園⑤歩行について

- ・歩行開始時期について、よく食べるから、偏食だから、やせ形だから、といったことは関係ない。
- ・歩くために必要な条件は①身体的発達②脳の発達③赤ちゃん自信の欲求④物的、人的、環境的要因が必要である。
- ・抱っこひもの長時間使用により、関節可動域への悪影響があり、反り返りによる異常姿勢等がある。
- ・久保田博士「とにかく歩かせる、ドンドン歩かせなさい、それが脳育につながる」



- 6) 今里保育園⑥0・1歳児の保育環境～手作りおもちゃ～
- ・発達段階をいたずら期、かくれんぼ期、ペタペタ期に分けた。
 - ・ひっぱり放題、かくれんぼ小部屋、コロコロ、牛乳パックの乗り物などの手作りおもちゃで遊んでいる姿を通して、発達を感じる。
- 7) せいかだい保育所⑦いろいろな保育士との出会い
- ～1歳児クラスの運営においてみえてきた担任間の連携の大切さと難しさ～
- ・保育士の時差勤務を図で表し、保育士の入れ替わりによって見えてくる課題がある。
 - ・いろいろな働き方を理解して、お互いが歩み寄っていくことが大切である。
 - ・複数担任の良さを生かしていくことが今後の課題である。
- 8) 友岡保育園⑧自然の虫とおともだち
- ・虫に関して、保護者にアンケートを取った結果、虫に触ることに抵抗はあるが、子どもには触れ合ってほしい、園の飼育や散歩で触れ合ってほしいと願う保護者が多い。
 - ・命の大切さ、虫の生態、思いやりや優しさを学んでほしいと思っている。
 - ・危険な虫（じょうろ蜘蛛、いらがの幼虫、はねかくし等）を保育士も把握し、怪我を未然に防ぐことが大事である。
 - ・保育士自身が生き物と触れ合うことで、自然と子どもたちも歩み寄ってくる。
- 9) ひいらぎ保育園⑨大丈夫？保育中に災害が起こったら…
- ・京都府で考えられる災害…地震、水害、竜巻がある。
 - ・備蓄品として、水、缶詰類、レトルト、アレルギー対応食、離乳食、粉ミルク、甘い物、缶飲料、紙コップ、紙皿、箸、スプーン、哺乳瓶、サランラップ、ビニール袋がある。
 - ・保育園では、備蓄品の確認、防災マニュアルの職員共通理解をしておく必要がある。
- 10) なごみ保育園⑩
- ・ポストイット（KJ法）を使うことによって、自分の意見や考えを出しやすい、頭の中の整理ができる、短時間で意見集約ができる、それぞれの意見を視覚的に共有化できる、保育の意味や意図が明確になるというメリットがある。
 - ・ドキュメンテーションを作成する時は、日頃からポストイットにメモを残すことで短時間で完成することができる。内容の色分けを園で統一することで、他の職員、保護者が理解しやすい。

2 感想

今回のプレゼン大会では、様々な園のプレゼンを見させていただきました。各園のプレゼンを聞かせてもらって感じたことは、話し方やスライドの内容（配置や配色等）、スライドを進めるスピードによって印象がかなり変わるのだと、勉強になりました。

特に印象的だった保育園のプレゼンは、分かりやすいスライドの表示や写真、またプレゼンをしている保育士の話し方がこちらに語り掛けるような話し方だったので、聞いていてすごく興味を持つことができました。

私の園では、園内でもプレゼンをする機会がないので、今回の研修内容を他の保育士にも伝え、学びの時を持っていきたいと思えます。

大勢の人の前に立つだけでも緊張をしていますが、その中でもはっきりと話し、時には聞いている人に語り掛ける大切さを学びました。保育の中では、参観等の行事でそういった場面に遭遇をすることがあると思えます。この研修の学びを今後の保育にも生かしていきたいです。

ありがとうございました。

（記録 兜台保育園 根倉麻里）

